

伊賀市スポーツ施設再編・整備計画
(伊賀市スポーツ施設ストック最適化計画)

中間見直し (案)

策 定 令和3年5月

中間見直し第1稿 令和8年3月3日

中間見直し第2稿 令和8年5月27日

目 次

施設再編・整備の基本方針

- 1 施設再編・整備の基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 個別施設の方向性・整備手法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～10

1 施設再編・整備の基本的な考え方（中間見直し）

本市のスポーツ施設は、市町村合併により類似で小規模な施設、観覧席が無くまたバリアフリーでない施設を多く有することになり、市民を対象とした大会や、より高い技術を間近で見られる大会の開催ができない状況にあります。

また、老朽化した施設が多く、維持管理経費が増大することで、必要な修繕に支障を来し、やむを得ず利用制限をせざるを得ない状況も発生しています。これにより施設稼働率がさらに低下し、その結果効率的な運営ができない悪循環に陥るなど、現状の施設は多くの課題を有しています。さらに、少子高齢化などの社会情勢や市民の多岐にわたるスポーツニーズに対応するため、競技スポーツのみならず生涯スポーツやレクリエーションスポーツも楽しめる施設を整備する必要もあります。

このような中、市民が安心・安全にスポーツを気軽に楽しめる環境づくりや、快適にスポーツを観戦できる環境づくり、更にはスポーツによる交流人口の拡大に向けた施設整備を進めていきます。

また市民アンケートで「適正配置を検討する場合に重視すべき視点」を聞いたところ、

- ① 利用時の交通手段は自動車での利用が多く、十分な駐車場が確保されていること
- ② 多種目や同一種目機能を集中配置し、総合的な管理機能を生かした維持コストの削減への意見が多くなっています。

以上の事から、施設整備を進めるにあたっては、「老朽化状況」「利用状況」「機能別・地域別施設数」「他目的利用の現状」「伊賀市の今後のスポーツ振興の方向性」等のさまざまな視点と、アンケート調査の結果や利用者ニーズ、更には「伊賀市公共施設最適化計画」も踏まえつつ、めざすべき施設整備の方向性を定めて進めていきます。

前期期間（令和3年度～令和7年度）では、上記の基本的な考え方のもと老朽化する類似で小規模な施設を7施設廃止したほか、プールの大規模改修、体育館等のLED化を実施しましたが、老朽化が著しい施設が多く、突発的な修繕等により当初計画に掲げる再編・整備は遅延しています。

このことから、後期期間（令和8年度～令和12年度）に、遅延した整備計画内容を含め、全ての再編・整備を進めることは難しくなっています。

こうした中、中間見直し後の限られた期間の中で再編・整備を進めていくためには、計画期間内の整備目標を明確にする必要があることから、これまでの再編・整備計画の基本的な考え方をもとに、現在の施設利用状況や市民アンケートの結果、関係団体の意見を踏まえ、今回新たに重点目標として、「天候に左右されず通年利用が可能な屋外環境の改善（グラウンド人工芝化）」と「猛暑に対応した屋内環境の改善（空調設備設置）」を掲げます。

この重点目標に基づき「グラウンド人工芝化」と「空調設備設置」を最優先課題と位置づけ、さらには「テニスコート人工芝更新」や「屋外照明LED化」等の他の整備も含め、優先順位を付け再編・整備を進めます。

2 基本方針

これまでの基本方針に加え、新たに掲げた重点目標を達成するため、基本方針を次のとおりとします。

(1) 市民が利用しやすい施設・設備の整備

- ①日常的なスポーツ利用に支障のないような機能維持に努めます。
- ②誰もが快適かつ気軽にスポーツができる環境づくりや、障がい者スポーツの推進に向け、ユニバーサルデザインの導入など付帯機能の充実に努めます。
- ③インターネットの活用などで、施設の空き状況の確認や施設予約等の利用手続きの簡素化を図ることで、利用者の利便性向上を図ります。

(2) 老朽化施設の見直し・修繕

- ①老朽化が著しい施設の内、改修しても施設の安全性が確保できない施設や、極めて利用の少ない施設、利用が地域に限定されている施設、市内に類似施設がある施設については、統廃合や転用などについて計画的に実施します。また状況によっては解体も視野に入れることとします。
- ②その他の施設は、利用者からの意見を聞きながら年度ごとに適正な修繕予算を確保しながら安心・安全かつ快適な施設環境を提供できるよう維持管理に努めます。

(3) 大会を想定した施設の整備

市・県民大会など比較的規模の大きな大会が開催できるよう、駐車場や観覧席などの設備の設置を検討するほか、類似施設の統廃合により機能の集中化や充実を図ります。

さらに、このような大会に市民が「参加」・「見る」ことにより臨場感あふれる感動を直近で味わえるよう、施設の充実を図ります。

(4) 新たな施設の整備

施設の規模や機能において、利用者ニーズに対応できず、今後の安定的な共用ができないと思われるものについては、新たな施設の整備に向け取り組みます。


(5) 重点目標として掲げる施設の整備（追記）

施設整備の重点目標として「天候に左右されず通年利用が可能な屋外環境の改善（グラウンド人工芝化）」と「猛暑に対応した屋内環境の改善（空調設備設置）」を掲げ、早期実現に向け取り組みます。

3 個別施設の方向性・整備手法

国のガイドラインに基づく評価結果を踏まえつつ、伊賀市における課題や方針、さらにはニーズ調査結果等も加味し、今後の伊賀市におけるスポーツ施設の方向性や整備手法について次のとおり定めるものとします。

個別施設の方向性及び整備手法

方向性	整備手法	伊賀市公共施設最適化計画において概ね合致する方向性	内 容
維持 	現状維持	継 続	屋外施設において、施設機能を維持しながら、長期的に使用を続ける。 〔(例) 利用上の安全性や機能性を保つため必要に応じて改修等を行う。〕
	長寿命化	継 続	屋内施設において、計画的に改修等の保全を行い、現在の施設をより長く使用する。 〔(例) 安全性や機能性について予防措置を講じることにより施設の延命を図ること、または措置により機能性等が向上し、施設利用の快適性が保て結果として施設機能が長期間に保てるための改修を行う。〕
	新設・建替	継 続	同等の機能を有する施設を整備する。または、新たなニーズに応じた施設を新規に整備する。
改 善	耐震改修	継 続	地震に対する安全性向上を目的に改修する。 〔(例)耐震基準を満たしていない施設の、耐震改修を行う。〕
	他機能・機能集約化	複合化・縮小・継続	現在の種目機能の変更や機能集約(複合化)を行う。また、経年劣化や社会的環境に対応した改修を行う。 〔(例) 現在の種目機能を他種目等に変更、または同じ種目機能を1箇所を集約する改修を行う。 (例) 施設構造体の劣化や、附属施設(トイレや更衣室等)の陳腐化、ならびに利用者ニーズ変化への対応等、社会的環境の変化に対応するための改修を行う。〕
改 廃	譲 渡	縮小・廃止	施設機能を残し譲渡を行う。 〔(例) 自治会やその他の団体への移譲、管理主体の変更を行う。〕
	廃 止	廃 止	施設を解体、又は売却等。

1 上野運動公園競技場

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	＊検討 陸上トラック路盤改修工事 ＊検討 スポーツセンター管理棟機能移転 ＊検討 メインスタンド改修工事 ＊検討 電光掲示板（スコアボード）更新工事
維持	現状維持	

市内唯一の競技場であり、フィールドは天然芝でサッカー、グラウンド・ゴルフにも利用されている。芝生の養生期間による一定の利用制限が必要なこともあり、稼働率は低いものの今後も日常管理を行い必要な修繕を実施するとともに、**市内唯一の陸上競技場でもあるため、陸上競技が行えるよう改修を検討します。**また、女子サッカークラブである「伊賀FCくノ一三重」がホームグラウンドとして利用している競技場のプロ基準（J3）化施設改修は、運営に携わる方が主体となって、実現に向けて様々な検討を進める必要があります。

2 上野運動公園野球場

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	照明機器 LED 化改修工事 三塁側防球ネット設置工事 電光掲示板（スコアボード）更新工事 バックスクリーン塗装工事
維持	現状維持	

両翼が約 100m 取れ、加えて照明設備が配備されていること等から、全国レベルの大会を開催することができる施設です。このため日常管理を行い必要な修繕を実施します。

3 伊賀市民体育館

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	空調設備設置工事 諸室・トイレバリアフリー化改修工事
維持	長寿命化	

耐震性を満たし市中心部にも立地しています。

競技可能コートは、バレーボールコート（2面）、バドミントンコート（4面）、バスケットボールコート（2面）を取ることが可能で他の種目への汎用性も高くなっています。屋内スポーツ活動の拠点施設であることから諸室の整備やバリアフリー化を図り日常管理を実施します。

なお、昨今の異常気象に対応した空調設備の整備を進めるとともに、旧学校体育館を転用した施設であることから観覧席が無いため観覧方法を検討します。

4 阿山B&G海洋センター体育館

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	空調設備設置工事
維持	長寿命化	

隣接する第1・2運動公園グラウンド及びプール、テニスコート、屋内ゲートボール場と一体となる総合スポーツセンターで、B&G財団から青少年健全育成の観点から整備後に移管された施設です。

耐震性を満たし、競技可能コートは、バレーボールコート（2面）、バドミントンコート（3面）、を取ることが可能で他種目への汎用性も高く、屋内スポーツ活動の拠点施設であることから日常管理を実施し長寿命化を図るとともに、**昨今の異常気象に対応した空調設備の整備を進めます。**

5 大山田B & G海洋センター体育館

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	空調設備設置工事
維持	長寿命化	

耐震性を満たし、競技可能コートは、バレーボールコート（2面）、バドミントンコート（3面）、を取ることが可能で他種目への汎用性も高くなっています。

また、B & G財団で青少年健全育成の観点から整備後に移管された施設であり、ソフト面での各種スポーツ教室の充実も図りながら日常管理を実施し長寿命化を図るとともに、**昨今の異常気象に対応した空調設備の整備を進めます。**

6 大山田東体育館（旧大山田東小学校体育館）

令和7年3月31日 用途廃止

7 青山児童屋内運動場（旧矢持小学校体育館）

令和4年5月31日 用途廃止（地元へ無償貸与）

8 青山高尾体育館（旧高尾小学校体育館）

令和4年5月31日 用途廃止（地元へ無償貸与）

9 ゆめが丘多目的広場

個別施設の方向性	
方向性	整備手法
維持 (改善)	現状維持 (他機能・機能集約化)

成人用サッカーコートが確保できる施設で、付随施設であるトイレや駐車場もバリアフリー対応がなされています。**阿山第2運動公園グラウンド人工芝化による施設の機能集約・機能強化を図った後、当該施設については、利用状況等を検証した上で、他機能化や売却を含め在り方を検討します。**

10 しらさぎ運動公園屋内多目的グラウンド

個別施設の方向性	
方向性	整備手法
維持	長寿命化

全天候型屋内施設です。必要な修繕を実施し日常管理を行い、長寿命化を図ります。

11 島ヶ原運動広場

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	グラウンド不陸整正・外構排水工事
維持	現状維持	

利用は、地元の方のグラウンド・ゴルフ及び休日における少年野球チームの練習にほぼ特化されます。グラウンドのみの施設であり維持管理を継続します。

12 いがまちスポーツセンターグラウンド

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	照明機器 LED 化改修工事 暗渠排水改修・不陸整正工事
維持	現状維持	

旧伊賀町で設置された総合運動公園の一部で、周囲に人家は少なく、名阪国道からのアクセスは非常に良く駐車台数も多く取ることができることから維持管理を継続します。

13 阿山第1運動公園グラウンド

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	照明機器 LED 化改修工事 屋外トイレ設備改修工事（管理棟解体含む）
維持	現状維持	

隣接する第2運動公園グラウンド及びB&G海洋センターと一体となる総合スポーツセンターです。野球やサッカーなど多目的に利用でき、また名阪国道からのアクセスも良く、阿山地域におけるスポーツ拠点であることから維持管理を継続します。

14 阿山第2運動公園グラウンド

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	グラウンド人工芝化 照明設備設置工事 法面等獣害対策保護工事
維持	現状維持	

隣接する第1運動公園グラウンド及びB&G海洋センターと一体となる総合スポーツセンターです。名阪国道や新名神高速道路からのアクセスも良く、「人が集まる」「人がつながる」スポーツツーリズムの拠点施設として、グラウンドの人工芝化を進め、スポーツ合宿などの受け入れ環境を整え、宿泊施設や観光施設との連携を強化し、観光客や利用者の増加による地域経済の活性化を促進する取り組みを進めます。

15 大山田東グラウンド（旧大山田東小学校グラウンド）

令和7年3月31日 用途廃止（地元へ無償貸与）

16 青山グラウンド

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	照明機器 LED 化改修工事 他機能化に向けた検討
維持 (改善)	現状維持 (他機能・機能集約化)	

中心地からは遠く稼働率、利用状況は低い傾向にあります。しかしながら、青山地域のスポーツの拠点施設であることから、グラウンド機能は当面継続しつつも、他機能化を検討します。

17 青山高尾グラウンド（旧高尾小学校グラウンド）

令和4年5月31日 用途廃止（地元へ無償貸与）

18 青山矢持グラウンド（旧矢持小学校グラウンド）

令和4年5月31日 用途廃止（地元へ無償貸与）

19 上野運動公園テニスコート

個別施設の方向性			整備事業
	方向性	整備手法	照明機器 LED 化改修工事 コート人工芝改修工事
現行	改善	他機能・機能集約化	
見直し	維持	現状維持	

稼働率は高いものの、住宅地に立地しているため夜間照明やボールの越境などによる苦情が寄せられることもあります。

また、伊賀上野武道館と上野運動公園と隣接しスポーツ施設としては集約されていますが、駐車台数が少なく、かつコート数も現状6面であることから規模の大きな大会が開催できないことがあります。このことから、他の施設への機能集約化を検討してきましたが、近年の利用状況や利用者や関係団体のニーズを踏まえ、方向性を維持に見直し行い維持管理を継続します。

【理由】近年の利用状況が市内各テニスコートの中でも多いことや、利用者・関係団体のニーズから、機能集約は行わず現状維持とします。

20 上野緑ヶ丘テニスコート

個別施設の方向性	
方向性	整備手法
改廃	譲渡

伊賀市立緑ヶ丘中学校テニスコートと隣接しています。施設への進入路は狭く、また専用駐車場も完備されておらず、利用形態は学校授業やクラブ活動での利用が多いことから教育委員会への管理主体の変更を検討します。

21 ゆめが丘テニスコート

個別施設の方向性			整備事業
	方向性	整備手法	照明機器 LED 化改修工事 コート人工芝改修工事
	維持	現状維持	

周囲に人家もなく都市公園施設の一角に設置され、加えて企業が立地するエリアに近いなど立地環境が良いため、継続して維持管理を行ないます。(4面)

22 いがまちスポーツセンターテニスコート

個別施設の方向性			整備事業
	方向性	整備手法	照明機器 LED 化改修工事 コート人工芝改修工事
現行	改善	他機能・機能集約化	
見直し	維持	現状維持	

旧伊賀町で設置された総合運動公園の一部であり、周囲に人家も少なく、名阪国道からのアクセスは良く駐車場も広がっています。

利用状況は少ない状況ですが、施設の機能集約化を行わないことから、方向性を維持に見直し維持管理を継続し、利用者の増加に繋がる取り組みを検討します。

【理由】令和3年度に集約化を見据えたコートの改修に着手しましたが、その後の整備が進まず、集約化を行わない方向となったため現状維持とします。

23 阿山第1運動公園テニスコート

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	照明機器 LED 化改修工事 コート人工芝改修工事
維持	現状維持	

隣接する第1・第2運動公園グラウンド及びB&G海洋センターと一体となる総合スポーツセンターです。施設の維持管理を継続します。(2面)

24 青山テニスコート

令和6年3月31日 用途廃止

25 しらさぎ運動公園ゲートボール場

個別施設の方向性	
方向性	整備手法
改善	他機能・機能集約化

利用がほぼ無い状況のため、競技団体等の意見を聴きながら用途変更を検討します。

26 いがまちスポーツセンターゲートボール場

個別施設の方向性	
方向性	整備手法
改善	他機能・機能集約化

利用がほぼ無い状況のため、競技団体等の意見を聞きながら用途変更を検討します。

27 阿山第1運動公園ゲートボール場

個別施設の方向性	
方向性	整備手法
維持	長寿命化

全天候型の屋内施設であり、ゲートボールやグラウンド・ゴルフなどに加え、各種イベントでの利用もあることから長寿命化を図ります。

28 阿山B&G海洋センタープール

個別施設の方向性	
方向性	整備手法
維持	長寿命化

夏期限定運用施設ですが、大山田B&G海洋センタープールと併せ継続して維持管理を行い、さらに水泳教室や屋内カヌー教室(SAP)等、ソフト事業の開催を検討します。

また、学校プール授業の活用を検討します。

29 大山田B & G海洋センタープール

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	プール塗装工事 プール施設大規模改修工事
維持	長寿命化	

阿山B & G海洋センタープールと併せ継続して維持管理を行い、さらに水泳教室や屋内カヌー教室（SAP）等、ソフト事業の開催を検討します。

また、学校プール授業の活用を検討します。

30 伊賀上野武道場

個別施設の方向性		整備事業
	方向性	整備手法
現行	維持	新設・建替 (長寿命化)
見直し	改善	他機能・機能集約化
空調設備設置工事 機能集約化の検討		

耐用年数を超過するなど施設の老朽化が非常に進行しています。

一方、当該施設は市内唯一の武道場でもあり、日常の維持管理を継続しつつ、昨今の異常気象に対応した空調設備の整備を進めます。

また、弓道場と併せ総合的な武道場として機能集約化の検討を行います。

【理由】施設の老朽化、弓道場との統合を踏まえ、機能集約を検討するため

31 伊賀市民弓道場

個別施設の方向性		整備事業
	方向性	整備手法
現行	改善 (維持)	耐震改修 (新設・建替)
見直し	改善	他機能・機能集約化
あづち改修工事 *検討 移転の検討 空調設備設置工事		

耐用年数を超過するなど施設の老朽化が非常に進行しています。利用者数は少ないものの、市内唯一の弓道場で競技団体を中心とした稼働率は高いため、日常の維持管理を継続しつつ、現在の武道場と併せ総合的な武道場として機能集約化の検討を行います。

【理由】施設の老朽化、武道場との統合を踏まえ、機能集約を検討するため

32 阿山B & G海洋センター艇庫

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	艇庫維持管理修繕工事
維持	長寿命化	

カヌー等を格納する施設であるため、当面倉庫機能として継続し、ソフト面での各種教室の定期開催について検討します。

33 大山田B & G海洋センター艇庫

個別施設の方向性		整備事業
方向性	整備手法	艇庫維持管理修繕工事
維持	長寿命化	

カヌー等を格納する施設であるため、当面倉庫機能として継続し、ソフト面での各種教室の定期開催について検討します。

34 上野運動公園多目的グラウンド（令和3年4月稼働）

個別施設の方向性	
方向性	整備手法
改善	他機能（他用途）化

野球やサッカーなど多目的に利用できるグラウンドです。現在利用が少ないことを踏まえ、競技団体等の意見を聴きながら他機能（他用途）化を検討します。